

# 道標ない旅

自分も人も大切に

～思いやり  
・チャレンジ  
・しなやかな心～



令和2年度 第11号  
2020.7.6発行  
葉山町立長柄小学校  
校長 益田孝彦  
Tel. 046-875-6860  
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 長文ですが是非読んで下さい。車で来校される方が増えていますので、原則を確認いたします。 ◆◆

連日の下校時間を襲う大雨で見えてきた課題があります。1日は、前日とは異なり、予め予防策を立てて下校指導に臨むことができました。その状況を全職員で確認し合った際、おおむね以下のような報告が共有されました。

川久保；交差点までの道のり、強風時、傘が飛ばされ逗葉新道へ飛んでしまうのが危険。

御霊神社；交通量と子どもの数が多く、車道にはみ出してしまふことが多い。地元の方々の道路に実際に出るの支援協力も多く見られる。

スリーエフ前；豪雨の際、横断歩道（信号押しボタン付近を含め）が冠水することがある。

校内駐車場；教員が交通整理などをして接触事故が起こった場合、責任が取れない。

コロナ情勢下であっても、それが児童の安全確保により有効な手段であれば、一斉下校方式をとっても構わないと考えています。それよりも長柄小学校の課題は、有効な解決方法のない「駐車場問題」です。今回は「雨」ではなかったもので、お迎えの車は多くはありませんでした。しかし、学校としては課題を感じずにはられませんでした。

「遠くから通ってくる児童のご家庭など、強い雨の日は迎えに行つてあげたい。」という親心は痛いほど分かります。ところが、長柄小学校の立地は、その思いに添えてくれる状況には到底ないのです。結論から申せば、「原則、車での来校は禁止」を守つて頂くしかないのです。

原則からはずれるものは、PTA活動のための乗り合つての来校や、体調不良や怪我等での保健上のお迎え、今回の学習会参加者のお迎えといった、学校が車の来校数を事前に把握できる場合に限りまふ。

「不意の大雨に迎えに行つてあげたい」という思いを認めて差し上げることが出来ない理由は何でしょう。そういったご家庭がどれ程あるかはつかみきれません。駐車場に入れた車は駐車場に停めるでしょうが、他の車は坂道に停めることとなります。そして、運転手の皆さんの多くが、事前連絡していないお子様が大雨の中、下校する前に昇降口で出会う必要があり、車から離れます。上手く出会えたご家庭は子どもを乗せて車の向きを変えて学校から出て行きたいのですが、車の向きを変える十分なスペースがありません。もし仮に、教員が整理を行つても、向きを変えるスペースを残さず、駐車場から坂道まで片側車線が埋まった状況では有効な解決はありません。子どもを乗せることが出来た方は、他の方のため一刻も早く出てあげたいと思うのですが、限られたスペースでは有効な解決方法自体がないのです。

一方、学校は児童の安全下校に注力します。「原則、車での来校禁止」のはずなので、車で迎えに来た方の駐車場問題より優先されるのは、児童の下校指導です。児童と一緒に、或いは児童に先駆けて、両側の階段や、長柄交差点、若宮陶器付近、御霊神社付近、川久保交差点、スリーエフ交差点付近などに散つて安全を見守ることに専念することとなります。駐車場問題は、学校側のコントロール優先事項ではないのです。大雨の中で起こりかねない車同士や、最悪児童を巻き込む接触事故について、責任は負いきれないのです。皮肉なもので、場内整理まで責任を負つて、上手く車を流すことが出来た場合、「車で迎えに行つても平気よ！」という評判が立つことは、この問題を次の機会にさらに大きくしてしまうだけの、むなしい結果しか生まれないのです。だからこそドライのようですが、「原則、車での来校は禁止」「場内の事故については、学校は責任を負わない」となります。

この問題がクローズアップされるきっかけは、避難所開設の時に起こりました。避難所への避難を考えると、脚の弱い高齢者や、避難所に持ち込みたい物品の数から、避難者にとって車での避難は必須なのに、長柄小の駐車場スペースは、この課題を解決できず、大混乱を引き起こしました。解決策は何だったと思いますか？長柄小・南郷中合同避難所運営委員会での決定は、車避難を選択されるご家庭は、南郷中に避難するか、荷物や家族を長柄小で降ろした車は、長柄小には駐車せずに、校外に出て行くとのルールが決まっています。ご存じでしたか？是非この際、同時に確認下さい。長々と記しましたが、是非ともこれらの考え方にご理解を頂き、実際の場面が訪れたときの行動基準とされますようお願い申し上げます。

◆◆ 長柄小学校に災害用自動販売機を設置することが決まりました。設置したらお知らせします。 ◆◆

大塚製薬と葉山町の防災協定で、飲料 360 本、食品 90 個を備えた自動販売機を長柄小学校に設置してみることが決まりました。日常的には学校に来校された際、普通の自販機としてご利用下さい。社会実験的な試みですが、災害時には実際に大きな貢献も期待できます。上手に活用できればと思います。

◆◆ 今年の夏は、海遊びが大変心配されます。 ◆◆

ご存じの通り、神奈川県は、海水浴場を開設しません。その結果、監視所、監視台、遊泳区域を示すブイなし、救護員の配置なし、「海の家」もありません。極めつけが、ライフセーバーの配置がありません。いつもならボードを用意して、遊泳中に溺れた海水浴客を救助に向かってくれる人がいません。ビーチパトロール員として参加されるそうですが、浜で起こったケガのみに対応し、海に泳ぎ出る任務はありません。子どもたちが遊び心で海に入り、クラゲなどに刺されて溺れても、磯遊びで溺れても、今年は助けがありません。

組織的な対応がない点で、風紀面でも今年の夏の海浜は心配されています。児童の遊びたい気持ちはよくわかります。その気持ちに応えるとしたら家族の付き添いと見守りは絶対だだと思います。安全に過ごせる夏休みであってほしいと心から願います。

◆◆ コロナウイルスの影が忍び寄ってきています。学校としては負けるわけにはいきません。 ◆◆

土曜日、肖像写真を撮ってもらっている写真屋さんと話していたら、その地元の小学校でコロナウイルスの患者が出たと話してくれました。そこの教育委員会は学校名を伏せているけれど、地域の人みんな分かっていると・・・その地域は葉山からそれほどの距離を感じません。近くの学校でいよいよ患者が発生したんだという思いでした。

長柄小学校では、現在は、「コロナ対策以上に熱中症対策」という文部科学省の指導方針に従って、当初厳しくしていた、コロナの原則に従っていた様々なマスク着用ルールを熱中症への心配から緩めています。従ってコロナ感染には、弱い面があることを自覚しています。それだけに、実は長柄小学校の朝の検温や欠席情報に注目しています。長柄小でも、季節の変わり目なので、体調を崩したり、体温が高い児童がたまに報告されてきました。その場合は翌日の様子を注視しています。熱や咳が原因で大事をとって欠席している児童が出てきて始めています。

重症化する若年層は2～3%と、割合が低いことは報告されていますが、そのご家族には、同居別居の違いがあっても、持病のある方や高齢の方がいるはずですが、また、該当学級或いは学校全体がまた臨時休業に入り、学習が遅れていくことも避けたいものです。可能ならば忍び寄るコロナの影に屈せずに元気で楽しい学校運営を続けていきたいものです。児童一人ひとりが心がける予防策の積み上げの上には、学校の安全は成り立ちません。お子様の検温等を通して、親御さんのセンサー感覚も大変重要な要素です。何卒ご支援ご協力お願い申し上げます。

◆◆ ご迷惑をおかけしています。休校の「レベル3」規定は、混乱を避けるため町内統一で削除します。 ◆◆

先週に引き続き、月曜日早朝も葉山町は大雨に襲われ町内に「レベル3」が出ている状況を迎えました。「レベル3」なら休校のはずなので、保護者の方々も対応がおかしくないかと疑問に思われた方も多いかと思っています。

そもそもこの休校は、千葉で鉄塔が倒れたコンパクトな台風などの接近時、町内に台風が来ると分かっているながらも、その6～7時間前は、強風も雨も全く感じさせず、台風が気配も見せず近づいていました。時間帯を学校にずらして考えると、登校時は気配がないので登校したが、下校時刻付近では、外を歩ける状態ではないこととなります。高齢者等避難（レベル3）は、なるべく高齢者の方々が動ける状況で出るので、判断する良い目安と考えたのです。さらに、暴風警報だけで対応すると、線状降水帯による大雨で、河川の氾濫や土砂災害危険性が高まる中、登校させる危険性があるので、土砂災害でのレベル3を適用し、児童・生徒の安全を事前を守ろうと考えました。

ところが、長雨が続き、土砂が含む水分量が危険な状態になり、さほどの大雨ではなくともレベル3が出てしまうことも今回はっきりしました。風雨の心配が比較的少ない状況でも、レベル3が午前6時半現在で出て、「休校」判断が逆におかしな場合が起こってしまうのです。

今年度より「レベル3」を休校判断に加えたばかりでしたが、実際に運用してみると、後段の休校判断にふさわしくない事例が、立て続けに起こってしまいました。

校長会では早速協議し、「レベル3」表現は全面的に削除。休校の条件からはずしました。前段のようなケースが予想される事例には、個別に連絡を取り合い、なるべく登校時間に間に合うように「休校」の連絡メールを別途配信することで対応していくこととなりました。

これに伴い、4月当初に配る保存版の「児童・生徒の安全について 令和2（2020）年度」は、レベル3表現をカットし、裏面のレベル3等の説明もカットし、表（おもて）面だけの物を再配付いたします。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◆◆ 令和2年度一輪車寄贈校の決定について、連絡が入りました。 ◆◆

このことについて、公益社団法人日本一輪車協会の会長から神奈川県教育委員会教育局指導部保健体育課長並びに湘南三浦教育事務所長を通して通知があり、本年度、長柄小学校へ一輪車寄贈が決定したとのことです。9月に到着する予定です。みんなで活用しましょう。

